

山口情報芸術センター[YCAM]開館5周年



情報と文化の交流拠点として2003年に開館した山口情報芸術センター[YCAM]は、2008年11月1日に5周年をむかえました。

山口情報芸術センター[YCAM]は、展示スペース、劇場、ミニシアター、図書館を併設する複合文化施設として、山口と世界とを結びながら新たな情報芸術の創造と発信の拠点となるよう、その役割を果たしてきました。

開館以来、メディアテクノロジーを共有のテーマに、アート作品の展示、ダンスパフォーマンスや演劇の公演、映画上映、サウンドイベント、ワークショップやレクチャーを開催し、その間400万人を超えるお客様にご来館いただきました。山口市を取り囲む優雅な山並みや隣接の中央公園を含めた景観に調和した建築物は、地域のみなさまの憩いの場、さらには先進的なメディア技術を用いた作品制作の場としても機能してきました。こうしたYCAMの5年間にわたる活動は、第11回公共建築賞(国土交通大臣表彰)の受賞、そしてYCAMで制作した作品が世界各国へと巡回するといった実績へと結びついています。

YCAMはこれからも、新しい時代にむけた豊かな地域づくり、感性、創造性豊かなひとづくり、多様な交流を通じた新しい文化的な価値の創造にむけて、たゆまぬ努力と挑戦を続けてまいります。



ぜひこの機会に、取材や記事掲載、中継等にご協力いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

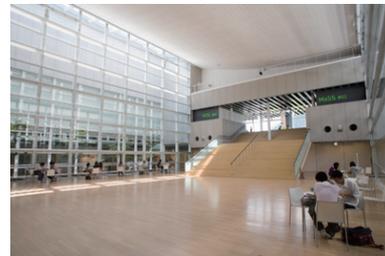
お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当: 廣田・石塚
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 E-mail: information@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

山口情報芸術センター[YCAM]の活動

新しい芸術表現活動を追求する施設として

YCAMは、身体表現の公演／制作の場となるシアター（スタジオA）、アート作品を制作・展示するアートホール（スタジオB）、コンピュータによる作品制作や研究活動をおこなうための専任のエンジニアが所属するラボ（InterLab）が融合した世界的にも優れた機能をもつ施設です。

メディアテクノロジーと身体をめぐる新しい芸術表現活動をつねに追求し、これまでに約500ものイベント（展覧会、パフォーマンスや演劇の公演、ワークショップやシネマ上映会など）を開催してきました。



地方から世界へ、YCAMオリジナルを発信する

YCAMの大きな特徴に、国内外の優れた作品の紹介にとどまらず、オリジナル作品を制作し、公開していることが挙げられます。ほかの施設では生み出せないオリジナルのプロダクション（作品制作）を重要視し、地方から世界へYCAMオリジナル作品の発信を積極的におこなっています。

これまで約40作品のオリジナル作品やワークショップを制作・発表し、その成果は国際フェスティバルでの受賞をはじめ、国内外での巡回展示・公演といったかたちであらわれています。5年間にわたるこうした活動によって、現在ではYCAMの開催するイベントはつねに注目を集めるものとなっています。2007年3月に開催したYCAMのオリジナル作品、坂本龍一＋高谷史郎「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」展では、YCAMのアート展示の最高となる12,281人の入場者数（開催期間：2007年3月10日-5月28日）を記録し、東京での巡回展示でも好評を得ることができました。こうした実績は、YCAMと山口市が、優れたアート作品を創出する場として、ほかの都市にはないブランド力を定着させていくことに結びついています。



坂本龍一＋高谷史郎
「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」2007

アート、シアター、教育普及の深いつながり

YCAMの事業は、＜アート＞＜シアター＞＜教育普及＞を3つの柱としています。これらの分野が相互に関係することにより、従来の「展示・保存型」「公演・鑑賞」の文化施設ではなく、「制作・発信・コラボレーション型」の創造的文化環境をつくりだすことを目指しています。このために、YCAMで制作・公演される作品に対し、鑑賞者の深い理解を促すことを目的としたワークショップやギャラリーツアー、茶話会といったイベントを作品内容にあわせて企画しています。メディア社会のなかで生きてくうえで必要な能力、感性、想像力をを育むことを目的とした＜教育普及＞が、＜アート＞＜シアター＞に密接に関わることで、それぞれの作品内容と、生活のなかに深く関わっている技術やシステムについての相対的な理解を促します。市民とセンター、アートと社会をつなぐ事業のプロセスを大切に、地域の文化リーダーの育成や市民の文化芸術活動の活性化をはかっています。



YCAM 教育普及オリジナルワークショップ
ケータイ・スパイ・大作戦

山口情報芸術センター[YCAM]の施設利用状況

10月9日(木) に来場者400万人を突破

来場者数データ…10月25日(土)まで

来館者数 4,034,018人

1日平均 2,677人

開館日数 1,507日

また、現在では、年間30組ほどの海外からの視察、取材訪問者を受け入れています。韓国や中国からの訪問者が、近年ますます増加しています。

(※ 行政視察に伴うもの、YCAMの活動や作品を母国に紹介するための取材、母国の芸術、文化事業、施設運営の参考にするために専門員との対談を求めるもの)



2008年10月9日(木) 400万人目の来場者

YCAMオリジナル作品の受賞

*オリジナル作品一覧とその巡回展示については、専用のパンフレットに掲載しております。

近年の主な受賞

ラファエル・ロサノ＝ヘメル

「アモーダル・サスペンション-飛びかう光のメッセージ」 (開館委嘱作品、展示:2003年11月)

BAFTA英国アカデミー賞(ロンドン、イギリス) インタラクティブアート部門大賞ノミネート

三上晴子、市川創太

「gravicells-重力と抵抗」 (委嘱作品、展示:2004年5月~6月)

「PRIXアルスエレクトロニカ2005」(リンツ、オーストリア) サイバーアーツ国際コンペティション/インタラクティブアート部門入賞

一案儀光

「ドラびでお」 (プログラム共同制作作品)

文化庁メディア芸術祭/アート部門・インスタレーション審査委員会推薦作品入賞

大石暁規

「OPNIYAMA (オブニヤマ)」 (展示:2005年7~9月)

文化庁メディア芸術祭/アート部門・インスタレーション審査委員会推薦作品入賞

内橋和久、UA、藤本隆行、古堅真彦、真鍋大度

「path - インスタレーティブ・コンサート」 (オリジナル制作作品、公演:2005年6月)

文化庁メディア芸術祭/アート部門・インタラクティブ審査委員会推薦作品入賞

毛利悠子、三原聡一郎

「Vexations - Composition in Progress」 (委嘱作品、展示/「時間旅行展」:2005年3月~6月)

「transmediale awards 2006」(ベルリン、ドイツ)/国際コンペティション/準グランプリ

「PRIXアルスエレクトロニカ2006」(リンツ、オーストリア)/サイバーアーツ国際コンペティション/インタラクティブアート部門入賞

渋谷慶一郎、池上高志

「filmachine」 (委嘱作品、展示:2006年8月~10月)

「PRIXアルスエレクトロニカ2007」(リンツ、オーストリア)/サイバーアーツ国際コンペティション/デジタル・ミュージックス部門

YCAM ニュース

受賞

第11回公共建築賞(国土交通大臣表彰)を受賞

公共建築の水準向上に寄与する目的として、総合的に優れた施設に対して隔年で表彰がおこなわれる公共建築賞。

応募施設128点のなかから、今年、YCAMが文化施設部門を受賞しました。山並みに調和した外観と、アジアの各国からも受け入れられ「山口ブランド」としても知名度が高いこと、そして子どもたちが積極的にアートに参加していることなどが高く評価されました。



巡回展示

イタリアで開催中の世界最大の建築フェスティバルにYCAMの作品が登場 メディアテクノロジーを駆使した建築構想が高い評価



2007年10月～2008年1月にYCAMにて開催されたアーティストグループ doubleNegatives Architecture (ダブルネガティブス・アーキテクチャー) による建築展「Corpora in Si(gh)te (コーポラ・イン・サイト)」が、「ヴェネチア・ビエンナーレ第11回国際建築展」で展示されています。この作品は、多数のセンサーを敷地に付設し、取得した環境情報によって生成する建築構想を提示するもので、メディアテクノロジーを駆使した新しい建築プロジェクトとして、国内外で大きな注目を集めています。

ヴェネチア・ビエンナーレ第11回国際建築展

2008年9月14日～11月23日

発売中

「Corpora in Si(gh)te」コンセプトブック

このプロジェクトのYCAMでの展示風景、コンセプトなどを収録したカタログ『Corpora in Si(gh)te Book I』が、現在全国にて発売中です。

価格：1000円(税込)



YCAM ニュース

巡回展示

2007年9月に制作・公演したダンス作品「true / 本当のこと」が世界を巡回中
山口から金沢、横浜、シンガポールを経て、今月いよいよニューヨークにて公演



2名のパフォーマーと第一線で活躍するアーティストやエンジニア10名がYCAMに集結し、制作したダンス作品「true / 本当のこと」。ダンサーの身体にセンサーを取り付け、舞台演出に関わる振動子、映像、音響、LED照明などをデジタル制御することで、身体と空間が呼応した独自の表現と舞台を作り出しました。2008年9月にYCAMで初演後、金沢、横浜での公演を経て、今年7月にはシンガポールで公演。さらに、今月13日～15日にはニューヨークにて公演します。

白井 剛 + 川口隆夫 + 藤本隆行「true / 本当のこと」

YCAM初演：2007年9月1日

ニューヨーク公演：2008年11月13日～15日 会場：ジャパンソサイアティ

書籍刊行

YCAM長期ワークショップから生まれた書籍「ヨロボン」がついに刊行
市民コラボレータによって編集された「山口」の姿が1冊の本に。



「編集」というテーマのもと、吉岡 洋氏(よしおかひろし：京都大学大学院教授/哲学、美学)を講師に迎えて実施したYCAM長期ワークショップ「meet the artist (ミート・ザ・アーティスト)」。

公募で集まった約20人の市民コラボレーターが書籍の企画からインタビュー、執筆や編集など、1冊の本を制作するすべての行程を体験しました。大内塗、瓦そばなど山口の地元ならではの話題を題材にしたこの書籍がついに刊行。

11月中旬の全国発売にともない、11月1日(土)よりYCAMで先行発売いたします。

書籍名：「Diatxt./Yamaguchi ヨロボン」(ダイアテキスト ヤマグチ)

販売価格：1,050円(税込) カラー/バイリンガル(日英)

ISBN978-4-434-12179-1 発売：星雲社

発売中

YCAMにて2006年に制作した作品「filmachine (フィルマシーン)」
世界を巡回、国際的な受賞を経て、ついにカタログ発売

サウンドアーティスト、作曲家の渋谷慶一郎と、複雑系科学研究者の池上高志両氏が提唱する新しい音楽構成理論「第三項音楽」に基づいた音響インスタレーション「filmachine」。ドイツでの作品展示を経て、2007年には、メディアアートの国際的なフェスティバル「アルスエレクトロニカ」でHonorary mentionを受賞しました。このたび、ついにドイツでカタログを刊行。日本でも発売をおこないます。



イベントの紹介(11月-12月)

*詳細は、各イベントのプレスリリースをご覧ください。

多彩なイベントで盛り上がるYCAMの5周年!!

開催中

特別企画展 ミニマム インターフェース

何かと何かを相互につなぐ「インターフェース」をテーマに国内外8組のアーティストによる作品を紹介する展覧会。触って楽しむことのできる作品が館内に展示されるほか、本展では、「美術館と来場者」、「作品と人」をつなぐことにも改めて着目し、展覧会のフライヤーのデザインや会場のナビゲーションシステムにも挑戦しています。

11月21日(金) - 12月27日(土)

YUDA ART PROJECT

YCAMが初めて、街を舞台に展開する展覧会。光と音をつかったメディアアート作品が、山口市・湯田温泉の街を彩ります。中原中也記念館、足湯、街の各所を舞台に、湯田温泉だからこそ楽しむことのできる作品をYCAMがプロデュース。提灯やのれんをつかったサインが街に出現するほか、湯田温泉のシンボルである白狐の「ゆう太くん」もこのプロジェクトにあわせて変身します。

12月5日(金) - 7日(日)

meet the artist 2008 ツアー・パフォーマンス

山口市営P (ヤマグチシエイビー)

YCAMの長期ワークショップシリーズ「meet the artist (ミート・ザ・アーティスト)」の今年度の成果となるパフォーマンス公演。山口市中心商店街を舞台に、ピクニックのようにツアーに出掛けて鑑賞する新しいタイプのパフォーマンス作品です。商店街の日常の風景に埋め込まれた仕掛けや演出を楽しみながら、山口というまちの背景や息遣いを再発見することができます。公募で集まった市民コラボレータとアーティストが山口という街の魅力をリサーチしながら、作品を制作中です。

12月20日(土) - 21日(日)

パフォーマンス公演 Op. ∞ (オーパス・アンフィニティ)

世界トップクラスのダンサーとチェリスト、エンジニアが集い、身体と演奏、メディアテクノロジーの関係性を描き出すダンス作品。アーティストの特徴を理解し、この公演について知るための手引きとなる関連イベントも開催。チェリストが出演するドキュメンタリー映画を上映するほか、生演奏会やYCAMスタッフより説明をおこなう茶話会を実施。さらに、技術的な解説を含めたワークショップなど、公演の前後にあるイベントに参加することで、作品の理解を深めることができます。

【会期】

2008年11月1日(土) - 2009年2月8日(日)
12:00-19:00

【出品作家】

セルジ・ジョルダ、マルティン・カルテンブルネル、ギョウター・ガイガー、マルコス・アロンソ/久保田晃弘/LEADING EDGE DESIGN (リーディング・エッジ・デザイン) /ザカリー・リーバーマン、テオドア・ワトソン/ダーン・ローズガールデ/SHINCHIKA (シンチカ) /クリス・サグリユ/高尾俊介

【会期】

2008年11月21日(金) - 12月27日(土)
10:00-22:00

【出品作家】

ユナイテッド・ビジュアル・アーティストズ/
exonemo (エキソニモ) /SHINCHIKA (シンチカ)

【日時】

2008年12月5日(金) - 7日(日) 12:30-15:30
(各回3-4名、20分間隔で出発 所要時間: 約90分)

【会場】 山口市中心商店街エリア

前売のみ1,800円

構成・演出: 高山 明

メディアディレクション: 瀬藤康嗣

リサーチ/アトラクション制作: 市民コラボレーター

【日時】

2008年12月20日(土) 19:00 / 21日(日) 14:00
前売 一般 2,000円 any会員/特別割引 1,700円
当日 2,300円

出演: リチャード・シーガル (振付家・ダンサー)

エリック=マリア・クチュリエ (チェリスト)

ケニース・フラック (ダンサー)

技術: フレデリック・ベヴィラッカ (プログラマー)

音楽: 伊藤 暁 (作曲家)